

「しまねっ子 すくすくプラン(後期計画)」の平成24年度末における進捗状況

「しまねっ子 すくすくプラン」における施策概要				平成24年度末における進捗状況						実施主体	
施策番号 及び 施策名称	事業名	事業期間	事業目標	現状値及び目標数値		24年度末 目標数値	24年度末 実績数値	進捗 状況	進捗状況に関するコメント	今後の見通し、25年度の取組方針等	担当課
				20or21年度	26年度						
基本理念Ⅱ 安心して子どもを生み・育てることができる環境の整備											
基本施策6 安心して子育てできるまちづくり											
6-① 良好な生活環境の確保											
◇バリアフリー化の促進	H22～H26年度	-	-	-	-	-	-	-	・鳥根県ひとにやさしいまちづくり条例施行規則の整備基準の改正を行った。 ・思いやり駐車場制度の全国での相互利用拡大を行った。	思いやり駐車場制度の普及・啓発を図る	障がい福祉課
◇乳幼児連れ家族が安心して外出できる環境の整備	H22～H26年度	しまね子育て家庭外出応援施設(赤ちゃんぽっとルーム)登録事業の登録施設数	H20 0	→	H26 200	-	283	目標を達成した	県内のこころ協賛店を対象にした、赤ちゃんぽっとルーム登録費補助金の実施により、登録施設数が増加した。	引き続き、登録施設数が増加するよう事業のPR等を実施し、子育て環境の向上を図る。	青少年家庭課
◇安全で快適な住宅の供給	H22～H26年度	県営住宅の整備戸数	H21 234戸	→	H26 434戸	380	385戸	目標を達成した	整備戸数は順調に増加している。	引き続き、老朽化した県営住宅の建て替え及び民間事業者による優良賃貸住宅供給を推進する。	建築住宅課
◇都市公園の整備	H22～H26年度	移動等円滑化基準への適合公園数※/便所の設置都市公園数(箇所) ※バリアフリー新法に基づくバリアフリー化基準への適合公園数	H21 41%	→	H26 45%	-	40%	遅れているが、目標年度の目標達成は微妙	トイレのバリアフリー化の進捗は伸び悩んでいるが、質的向上(施設のバリアフリー化、施設の改築更新)には積極的に取り組んでいる。	引き続き早期供用を目指し継続して整備に努める。また、質的改良にも積極的に取り組んでいく。	都市計画課
◇河川海岸環境の整備	H22～H26年度	事業実施河川	H21 13	→	H26 14	12河川 1海岸	12河川 1海岸	目標を達成した	堤防や護岸の整備によって、安全に川沿いの散策や水辺に近づけるようになった。	引き続き、河川改修工事等を実施し、人々が安全に水辺にふれあえる場を創出する。	河川課
6-② 安全・安心なまちづくり											
◇通学路・公園等における安全対策の推進	H22～H26年度	まちの安全指導員による危険箇所点検回数	H21 235回	→	H26 毎年500回以上	-	184回	遅れているが、目標年度には回復可能	継続して松江市、出雲市、浜田市、益田市にまちの安全指導員を配置し、きめ細やかな通学路等の安全点検を実施した。平成24年度は、青色防犯パトロール活動や防犯ボランティアとの共同パトロール活動に重点を置いたことから目標の達成には至らなかった。	防犯ボランティア、地域住民等との協働による通学路等の点検活動やパトロール活動を強化するとともに、学校と連携した地域安全マップの作成に取り組む。また、把握した危険箇所については、自治体等への申し入れを行うことで道路環境の改善を図っていく。	生活安全企画課 環境生活総務課
◇子どもを犯罪等の被害から守る活動の推進	H22～H26年度	青色防犯パトロール団体の結成数	H21 124団体	→	H26 150団体	-	156団体	目標を達成した	全国的に子どもや女性を狙った犯罪が後を絶たないことを背景に、県内各地においても地域の安全は地域で守るとの気運が高まり、新規団体が次々と結成され、目標を達成した。	各警察署単位で結成されている防犯ボランティアネットワークを活用してボランティア団体同士による情報共有及び意思統一を図ることで、防犯活動の質を向上させるとともに、青色防犯パトロール団体の更なる結成を促進する。	生活安全企画課 環境生活総務課
		みこびー安全メール加入件数	H21 4529件	→	H26 20000件	-	8,619件	遅れているが、目標年度の目標達成は微妙	平成26年度の目標数値(20,000件)に対して、平成24年度末の登録者は8,619件と大幅に下回っているが、防犯ボランティアを中心に登録者の拡大に向けた取組を強力に推進した結果、登録件数は順調に増加している。	登録者数は、年々、増加している状況にあることから、情報紙やチラシ等の各種広報媒体を活用した広報啓発活動を強力に推進する。また、「子ども・女性」みまもり運動の取組みに併せて、事業所単位での登録拡大を図る。	
		子どもを対象とした防犯講習会の開催回数	H21 1313回	→	H26 毎年1000回以上	-	775回	順調である	学校における犯罪被害防止教室をはじめとした防犯講習会の開催について、小中学校に対する積極的な働き掛けを実施した結果、高い実施率を維持している。幼稚園・保育園における開催回数を計上していないため目標値を下回っている。	学校に対する働き掛けを継続的に行うとともに、内容を充実させた犯罪被害防止教室を開催して、高い実施率を維持する。	
		「子ども110番の家」等の設置箇所数	H21 5763箇所	→	H26 7000箇所	-	7,997箇所	目標を達成した	テレビコマーシャルを放映した「子ども110番の家」の周知を図るとともに、事業所に対する加入の働き掛けを強力に推進した結果、加入者数が順調に増加し、目標を達成した。	子どもの緊急避難場所を確保するため、通学路等に面した住宅、店舗、事業所等に対して、引き続き子ども110番の家への加入の働き掛け及び周知のための広報活動を実施する。	
◇安全な歩行・走行のための道路整備	H22～H26年度	広幅員歩道整備率	H21 7.4%	→	H26 9.5%	8.5%	8.1%	遅れているが、目標年度には回復可能	事業費の削減により、目標値に届いていないが、コスト削減等により回復を図る。	広幅員歩道整備延長・L=10.8km 事業費の削減が求められており、新たに広幅員歩道を整備する箇所は限られている。より一層のコスト削減を図るとともに、事業量の確保に努める。	道路維持課
◇安全な道路交通環境の整備	H22～H26年度	歩車分離式信号・LED灯器	H21 0	→	H26 毎年1交差点	8	8	目標を達成した	歩車分離式信号8基、歩行者用LED灯器26基を整備し、目標を達成した。	前年度に引き続き安全な道路交通環境の整備を推進する。	交通規制課
◇交通安全教育の推進	H22～H26年度	子ども対象交通安全教室・保護者対象(チャイルドシート等)講習会の開催回数及び受講者数	H21 1,591回 90,101人	→	H26 1800回 108,000人	-	1241回 81,787人	遅れているが、目標年度には回復可能	新入学(園)期を中心に子どもに対する交通安全教室や保護者対象のチャイルドシートの講習会などを実施した。 また、自転車乗用中の交通事故防止及び自転車の交通ルール・マナーの向上を目的とした子供に対する自転車の安全利用推進を図った。	各幼・保育園及び小中学校と連携し参加体験・実践型の交通安全教室を開催する。24年度のチャイルドシート使用率調査の結果は63.0%であり、前年度の使用率を上回ったが、より一層の使用率向上を目指して講習会等で正しい使用の徹底を呼びかける。	交通安全企画課 交通対策課